

水生生物で川の水質を調べる

(身近な川へ入って、水生生物を採取・観察し水質を調べてみよう)



調査手法

1. 調査時期

- ・1年を通して調査する場合には、各季節ごとに調査するのが理想的です。
- ・1回しか調査しない場合は、春が最適ですが、夏も適しています。

2. 調査場所

- ・川は大きくても小さくてもかまいませんが、水の深さが30cm位で、流れがある、川底にこぶしや頭位の大きさの石が多い場所で調査できるような川が適当です。
- ・川底が泥で覆われているところしかない場合は、そこでもかまいません。
- ・川底が一面コンクリートの場所、ヨシなどが川全体を覆っているような場所、水の流れがない場所は避けましょう。
- ・適当な場所であっても、調査に危険を伴う場合には、別の場所を探しましょう。

3. 調査の手順

調査場所を決めましょう。また、現地を見ておきましょう。

次の道具を用意しましょう。

(テキスト、記録用紙、鉛筆、網(目の細かさが1~2mm程度のもの)、バケツ、白いバット、ビニールの白い敷物、ルーペ(虫眼鏡)、ピンセット、温度計)

調査の仕方

ア 調査は3~5人を1グループとして行ないます。

イ 調査地点に着いたら、まず記録用紙に地点名、地点番号、月日、時刻、その地点の状況を書き込みます。

ウ 指導員の指示を守って川に入り、適当な地点を決めます。

エ 下流側に網をおきながら、石のいくつかをバットかバケツに取り上げます。

オ 石を取り上げたあとの川底をシャベルや足でかき混ぜ、流れてくる生物を網で受けます。

カ 石についている生物を、ピンセットで捕まえます。

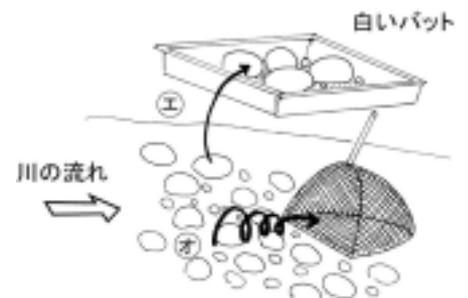
網に残った生物もピンセットで捕まえます。

キ つかまえた生物は、水を少し入れた白いバットの中に入れて、指標生物を調べます。指標生物でない生物もいるはずですから、それらについても観察してメモしておきましょう。

ク 調査が終わったら、観察した生物や石は川に戻しましょう。

水質階級の判定

調査結果から、調査場所ごとに水質階級を判定します。



【危険防止のための注意事項】

調査は3~5人のグループで行いましょう。

流れの速さを確認してから川に入るようにしましょう。

(川の流れは思った以上に速いものです。)

調査は川底が見えるところで行いましょう。(深さ30cm程度)

長靴をはくか、ぬれてもよいクツをはいて調査しましょう。

足を取られたり、ころんだり、すべったりしてケガをしないよう十分注意しましょう。

大変きたないと思われる場所では、ビニール手袋等をはめて調査しましょう。